

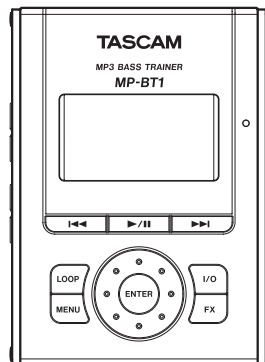
D00998300B

TASCAM

TEAC Professional Division

MP-BT1

MP3 BASS TRAINER





目次	
安全にお使いいただくために	2
第1章 はじめに	6
本機の電源について	6
リセット用ホールについて	7
本機の詳しい使い方について	7
第2章 曲を準備する	9
パソコンに曲を取り込む	9
本機の電源を入れる	9
電源を切るには	9
本機とパソコンを接続する	9
第3章 再生する	11
曲をパソコンから本機にコピーする	10
モニターを準備する	10
本機で曲を再生する	11
再生のテンポを変える	11
希望の区間を繰り返し再生する	12
第4章 ベースと一緒に演奏する	13
ベースを接続する	13
曲を再生しながら演奏する	13
エフェクタを使用する	13

クイックスタートガイド




安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してお買い上げの販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはティアック修理センターににご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器の隙間などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の上に小さな金属物を置かないでください。中に入った場合に火災・感電の原因となります。



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



船舶などの直流（DC電源）には接続しないでください。火災の原因になります。



航空機の運航の安全に支障を及ぼすおそれがあるため、離着陸時の使用は航空法令により制限されていますので、離着陸時は本機の電源をお切りください。

⚠注意



オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないように注意してください。耳を刺激する様な大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪影響を与えることがあります。



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。

- ・ 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- ・ 湿気やほこりの多い場所
- ・ ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。又、お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。



この機器には、指定のACアダプターをご使用ください。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。

⚠ 警告 (充電に関する警告)

本製品はリチウムイオン電池（内蔵）を使用しています。発熱、発火、液漏れ等を避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。



●指定以外のACアダプターとUSBケーブルを使用しないでください。
家庭用AC電源で使用する時や、充電を行う時は必ず指定のACアダプターとUSBケーブルを使用してください。
指定以外の物を使用すると過熱により、けが・やけど・火災・汚損や電池の破裂、液漏れの原因になります。



火の中に入れたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしないでください。



●分解しないでください。
感電の原因になります。充電式電池の交換・点検・修理は、お買い上げの販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。ただし廃棄時には取扱説明書記載の手順に従って内蔵の電池を取り外してリサイクルにご協力ください。



●充電式電池の液が漏れたときは素手で液をさわらないでください。
液漏れが発生した時にはティアック修理センターにご相談ください。
液が目に入った時には失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。
液が体や衣服に付いた時は皮膚の怪我・やけどの原因になるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

第1章 はじめに

本機はベーシストの練習用として最適なプレイヤーです。通常の再生で聴き取れないようなフレーズでも、本機を使ってゆっくり再生することにより、容易に聴き取ることができます。また内蔵エフェクタと接続できるベース専用入力端子を装備していますので、再生する音楽に合わせてベースを演奏することができます。

曲はいったんパソコンに取り込んでからUSB接続した本機に転送（コピー）して使用します。

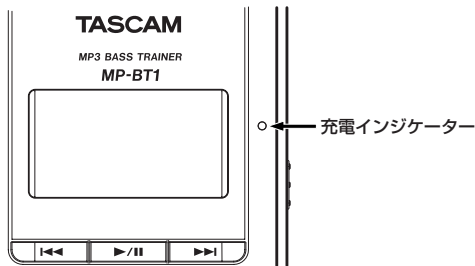
本機のメモリーには機能を詳しく解説した取扱説明書のPDFデータが収録されています。

お読みいただくためには、お使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerはインターネットから無償でダウンロードできます。

本機の電源について

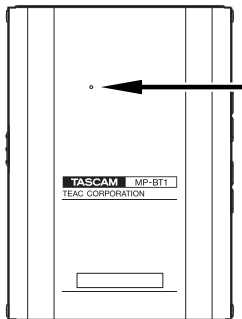
本機は内蔵のリチウムイオンバッテリー（または別売のACアダプター）で駆動することができます。このバッテリーは、USB接続したパソコンまたは別売のACアダプターを使って充電することができます。お買い上げ時、このバッテリーは十分に充電されていません。ご使用の際はあらかじめバッテリーを充電しておくか、あるいはACアダプターを接続してください。

- パソコンを使って充電するには、付属のUSBケーブルを使って本機とパソコンを接続し、パソコンの電源を入れます。USB接続／切り離し方法については「第2章 曲を準備する」（→9ページ）を参照してください。
- 別売のACアダプターを使って充電するには、ACアダプターを[DC IN 5V]端子に接続します。
- 充電中はディスプレイの右にある充電インジケーターがオレンジ色に点灯します。
- フル充電されると消灯します。



リセット用ホール

本機の動作がおかしくなったとき、クリップの先端など細長い棒などをこの穴に差し込んで、内部にあるシステムリセットボタンを押します。ボタンを押すと電源がオフになります。



注意

通常の動作中はシステムリセットボタンを押さないでください。

本機の詳しい使い方について

付属のクイックスタートガイドではMP-BT1をすぐにご利用いただくための基本的な操作のみを説明していません。

MP-BT1の詳しい使い方に関しては、本機のメモリー内に収められているオーナーズマニュアルをご覧ください。

■オーナーズマニュアルを見るには

1. 本機を付属のUSBケーブルでパソコンに接続して下さい。(接続方法はクイックスタートガイドをご覧ください。)
オーナーズマニュアルをお読みいただくためにはお使いのパソコンにAdobe Readerがインストールされている必要があります。Adobe Readerはインターネットから無償でダウンロードできます。
2. 「MANUAL」フォルダ内にオーナーズマニュアルのPDFデータが入っていますのでAdobe Readerでご覧ください。

注意

オーナーズマニュアルのデータは他のメディア(パソコンのハードディスク、MOディスク、CD-R等)にバックアップすることをお勧めします。

■オーナーズマニュアルを消してしまった時には

オーナーズマニュアルを削除してしまった場合は、弊社ウェブサイト(<http://www.tascam.jp/>)からダウンロードすることができます。

例として、パソコンに取り込んだCDの曲を本機に取り込む手順を以下に説明します。

パソコンに曲を取り込む

MP3変換（エンコード）機能を持つパソコンのソフトウェアアプリケーション（iTunesなど）を使って、CDの曲をパソコンにMP3形式で取り込みます。

具体的な操作方法などについては、パソコンあるいはアプリケーションの取扱説明書／ヘルプをご覧ください。

ヒント

ほとんどのソフトウェアアプリケーションはMP3形式以外での取り込みにも対応しています。取り込みの設定がMP3形式になっていることを確認して下さい。

本機の電源を入れる

本機のPOWERスイッチを矢印の方向にスライドしたままにし、画面に**"TASCAM"**が表示されたら離します。

本機が起動してホーム画面が表示されます。

電源を切るには

POWERスイッチを矢印の方向にスライドしたままにし、画面に**"Trainer series"**が表示されたら離します。

本機とパソコンを接続する

本機にパソコン上の音楽ファイルを転送（コピー）するとき、付属のUSBケーブルを使って、本機のUSBポートとパソコンのUSBポートを接続します。

本機の画面に、**"USB connected..."**が表示されます。

パソコンの画面に、本機が**"MP-BT1"**という名の外部ドライブとして表示されます。

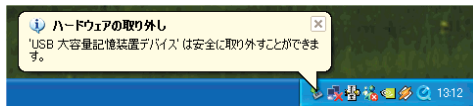


工場出荷時には**"MP-BT1"**ドライブの中に取扱説明書のPDFデータを収録した**"MANUAL"**フォルダがあります。

第2章 曲を準備する

曲をパソコンから本機にコピーする

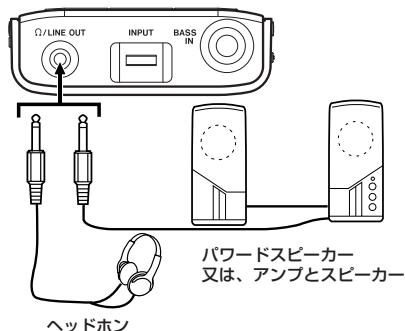
1. パソコン上の**"MP-BT1"**をクリックして開きます。
UTILITYフォルダ、MUSICフォルダが表示されます。
2. パソコンに取り込んだ曲（MP3ファイル）をMUSICフォルダにドラッグ&ドロップします。
MP3ファイルがコピーされます。
3. コピーを終えたら、まず最初にパソコンから本機を正しい手順で切り離れた後、USBケーブルを外します。



本機が自動的に再起動します。

モニターを準備する

Ω /LINE OUT端子にヘッドホンまたはモニターシステム（アンプ内蔵スピーカー、オーディオシステムなど）を接続します。



本機で曲を再生する

- ▶/||キーを押すと、再生を開始します。
- 再生を停止するには、▶/||キーを押します。



- 複数の曲を取り込んだ場合、◀◀/▶▶キーを使って曲を選択することができます。
- ◀◀/▶▶キーを押したままにすると、それぞれ早戻し/早送りサーチができます。
- OUTPUT VOLUME(+,-)キーを使って音量を調節します。

ヒント

MENU画面から"**BROWSE**"もしくは"**PLAYLIST**"の画面を呼び出して操作することにより、ダイレクト選曲やお気に入りの曲を素早く選ぶことができます。

再生のテンポを変える

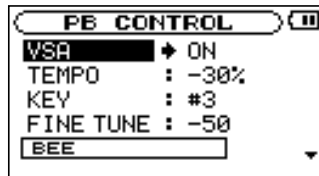
テンポを変えて再生することができます。フレーズをコピーするときなどに便利です。

1. MENUキーを押してMENU画面を表示します。
2. ホイールを使って"**PB CONTROL**"を反転表示し、ENTERキーを押します。

PB CONTROL画面が表示されます。

ヒント

ホーム画面表示中にENTERキーを押すと、直接PB CONTROL画面が表示されます。



3. ホイールを使って"**TEMPO**"を反転表示し、ENTERキーを押します。
4. ホイールを使ってテンポを設定します。
表示される数字の単位は%です。

ヒント

PB CONTROL画面の"**VSA**"項目の設定をONにすると、テンポを変えたときに音程が変わりません。

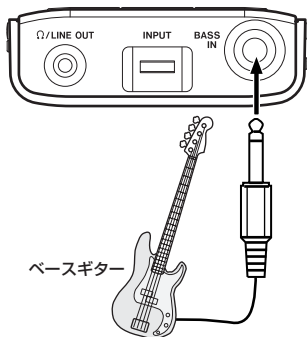
5. MENUキーを繰り返し押して、ホーム画面に戻します。

希望の区間を繰り返し再生する

1. ►/■キーを押して再生を始めます。
 2. 繰り返し再生したい区間の始点でI/Oキーを押します。
 3. 繰り返し再生したい区間の終点でI/Oキーを押します。
- 繰り返し再生が始まります。
- 繰り返し再生を中止するには、LOOPキーまたはI/Oキーを押します。
- LOOPキーを押した場合、繰り返し区間の設定が残り、再びLOOPキーを押すとまた繰り返し再生が始まります。
 - I/Oキーを押した場合、繰り返し区間の設定がクリアされます。

再生音とベースとミックスして鳴らすことができます。

ベースを接続する



1. ベースを本機のBASS IN端子に接続します。
2. INPUTボリュームで入力レベルを調節します。

曲を再生しながら演奏する

曲を再生しながらベースを演奏すると、ミックスされた信号が Ω /LINE OUT端子から出力されます。

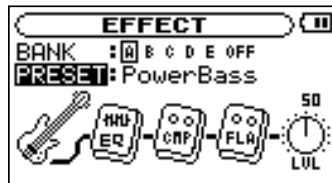
MIX BALANCEキーを使って、再生音 (PLAYBACK) とベース (BASS) のバランスを調節できます。

エフェクタを使用する

本機にはベース用エフェクタが内蔵されています。

1. FXキーを押します。

エフェクト画面が表示されます。



2. ホイールを使ってBANKを反転表示し、ENTERキーを押します。

第4章 ベースを一緒に演奏する

3. ホイールを使ってバンクを選択し、MENUキーを押します。

選択すると現在バンクに登録されているプリセットエフェクトが表示されます。

OFFを選択するとエフェクタがバイパスされます。

4. ホイールを使ってPRESETを反転表示し、ENTERキーを押します。
5. ホイールを使って希望のプリセットエフェクトを選択し、MENUキーを押します。
6. ホイールを使ってLVLを選択し、ENTERキーを押します。
7. ホイールを使ってLVL（エフェクト出力レベル）を調節し、MENUキーを押します。

ヒント

選択したプリセットエフェクトは更に各エフェクタのパラメータを調整することもできます。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム営業技術までご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00 / 13:00～17:00です。

タスカム営業技術

〒206-8530 東京都多摩市落合1-4-7



0120-152-854

携帯電話・PHS・IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 / FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター： 〒190-1232 東京都西多摩郡瑞穂町長岡2-2-8



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話・PHS・自動車電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-556-2280 / FAX：042-556-2281

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530

東京都多摩市落合1-4-7

<http://www.tascam.jp/>